

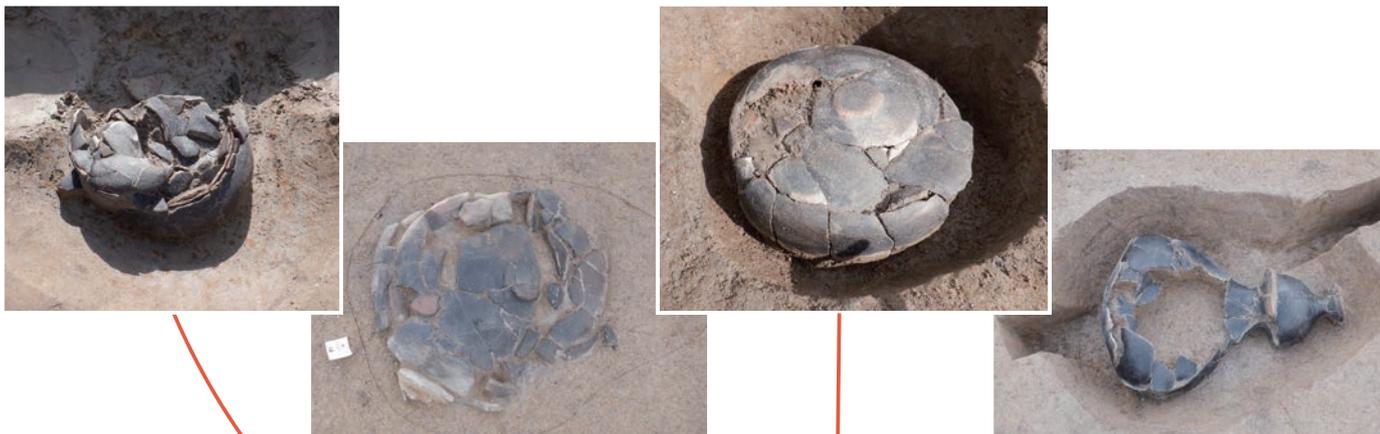
鹿乗川関連遺跡群 発掘調査だより

(公財) 愛知県教育・スポーツ振興財団
愛知県埋蔵文化財センター

中狭間遺跡での調査が始まりました

10月初頭より、中狭間遺跡での発掘調査が本格的に始まりました。今年度に調査する遺跡では最も北に位置し、以前の調査では弥生時代中期後葉～古墳時代初頭(約2,200年前～1,900年前)の墓域(墓として使われた区域)が確認されています。現在着手中の中狭間遺跡A区では、弥生時代中期ほうけいしゅうこうぼの方形周溝墓のほか、土器棺墓どきかんぼが少なくとも4基は見つかっています。今後の調査の進展にご期待ください。

土器棺墓たち



一辺約18mの方形周溝墓の周溝



◀ 亀塚遺跡今年度調査区全景

6月に始まった亀塚遺跡の調査も、11月を目処に大部分は完了の見通しとなりました。水路や道路の下となっている部分は1月から2月に調査する予定です。



▲ 亀塚遺跡 Ab 区で出土した土器群

溝から弥生時代後期～終末期の土器がまとまって出土しました。^{かめ}甕・^{つぼ}壺・^{たかつき}高坏などメジャーな種類が揃っています。



◀ 亀塚遺跡 Ba 区出土の壺

Ba 区で出土したこの壺は、そろばん玉のように横に大きく張り出した胴部や、縦横の櫛描き文様、道具を押し付けて施した円形の文様が特徴です。

弥生時代中期のもので、A 区・B 区の出土遺物では最も古い部類に入ります。

鹿乗川関連遺跡群 発掘調査だより 令和5年度第4号 令和5年10月27日

編集・発行 (公財) 愛知県教育・スポーツ振興財団 愛知県埋蔵文化財センター

TEL: 0567-67-4163 (担当: 池本・河嶋)

公式サイト: <http://www.maibun.com/>

印刷・協力 株式会社イビソク (現場代理人連絡先: 080-8250-7393 (小林))